

第45回全国高校バスケットボール選抜優勝大会(ウインターカップ)道予選第2日(8日 小樽市総合体育館)

旭川藤女子 決勝初進出

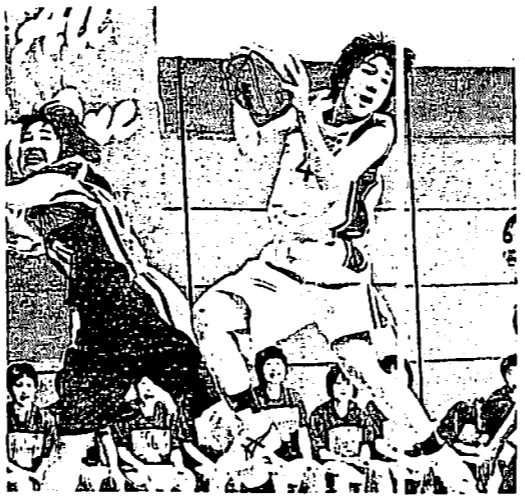
旭川藤女子	54	17131619
札幌創成	61	17131619
旭川藤女子	42	17131619
札幌創成	54	17131619
旭川藤女子	42	17131619
札幌創成	54	17131619



男女の準々決勝、準決勝が行われ、女子は今夏の全国高校総体に出場した旭川藤女子が準決勝でとの森三愛を50-42で下して今大会初の決勝進出を果たした。

進む守備的な試合だったが、ガードの玉田那奈(3年)が終盤に得意のドリブルから相手守備陣を翻弄(ほんろう)し、ドライブからのシュートやパスでチャンスを出し、チーム最多の17得点と躍動した。一相手がプレスをかけてきたのでドライブで行こうと思っただとしてやったりの玉田、3年生の仲間にはみんな残って心強い。でも全員でできるっていうのがうれし」と素直な思いを口にした。

旭藤 女子



旭藤のエース・玉田は17得点を挙げ活躍でチームを初の決勝に進出した

3回戦、準決勝が行われ、女子は旭藤が50-42でとの森をかき、初の決勝進出を決めた。例年は世代交代を進めるが、夏に敗れた札山の手創成を11点差で破り、準決勝ではとの森の粘りを退けた。チーム最多得点をマークした玉田那奈

旭川藤女子 VS 札幌山の手

旭川藤女子	50	5	18	13	14	19
札幌山の手	92	28	26	20	18	13
旭川藤女子	65	17	13	16	19	54
札幌山の手	92	13	14	11	14	52

旭川藤女子は、3年目の伊藤淳子監督(60)の指導で、3年が全員の活躍を期待していた。3年が全員の活躍を期待していた。3年が全員の活躍を期待していた。

初決勝

男子】▽3回戦

東海大四	108	55	北	海
海星	63	88	函	大
工大	63	88	函	大
札大	57	68	函	大
旭大	74	65	旭	大
海星	77	75	札	大

女子】▽3回戦

札山の手	100	55	札	東
海星	74	74	函	大
旭大	65	74	函	大
札大	54	44	札	大
旭大	65	74	函	大
海星	50	92	札	大

決勝のコートに立つ。それだけは、どうしても譲れなかった。今夏、道2位でインターハイに初出場した旭藤が、この大会でも快進撃を続けた。3回戦で昨年準優勝の札創成を11点差で破り、準決勝ではとの森の粘りを退けた。チーム最多得点をマークした玉田那奈

女子

札山の手	106-43
大谷	103-34
帯広	100-55
網走	94-26
南	116-33
小	86-50
札	92-52
海	121-17
海	90-54
海	74-54
海	64-42
海	73-56
海	9
海	79-32
海	69-61
海	74-44
海	77-60
海	88-51
海	50-42
海	105-31
海	76-68
海	71-60
海	65-54
海	58-36
海	87-45



決勝は常勝・札幌山の手。玉田主将は「気持ちよく、3年間で最高のパフォーマンスをした」と闘志を見せた。

伊藤淳子コーチ(60)は「受験を置いてまで懸けてくれた。決勝に進めて、ホッとしています」と表情を緩めた。大会期間中に予定された大学推薦入試の面接を断ってまで出場した選手もいた。入学当初は衝突するところもあった3年生は、同じ時間を過ごし、強い絆で結ばれた。だから、玉田主将はみんなが残ってくれて心強い。決勝も悔いが残らないように戦う」と全員の願いを代弁。相手が強くても気後れする「こたはない。仲間を信じ、大谷の覚悟をぶつける。」